



平成25年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月9日

上場会社名 株式会社 高島屋  
 コード番号 8233 URL http://www.takashimaya.co.jp  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 鈴木 弘 治  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長 (氏名) 加藤 ナ ナ (TEL) (03)3211-4111

四半期報告書提出予定日 平成24年10月12日 配当支払開始予定日 平成24年11月20日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第2四半期の連結業績(平成24年3月1日～平成24年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第2四半期	419,830	2.4	10,124	11.6	11,740	8.8	6,604	22.8
24年2月期第2四半期	410,069	3.0	9,069	13.5	10,789	6.8	5,376	35.7

(注) 包括利益 25年2月期第2四半期 9,671百万円 (111.5%) 24年2月期第2四半期 4,571 百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第2四半期	20 .01	18 .62
24年2月期第2四半期	16 .29	15 .16

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第2四半期	789,801	315,497	39.2
24年2月期	803,917	307,481	37.6

(参考) 自己資本 25年2月期第2四半期 309,780百万円 24年2月期 302,152百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期		5 .00		5 .00	10 .00
25年2月期		5 .00			
25年2月期(予想)				5 .00	10 .00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	874,500	1.9	25,000	18.5	27,500	12.9	13,500	23.9	40 .92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 - 社（社名） 除外 - 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

以外の会計方針の変更： 無

会計上の見積りの変更： 無

修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年2月期2Q	330,827,625株	24年2月期	330,827,625株
期末自己株式数	25年2月期2Q	930,432株	24年2月期	926,136株
期中平均株式数（四半期累計）	25年2月期2Q	329,899,038株	24年2月期2Q	329,907,238株

#### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
(4) 追加情報 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(5) セグメント情報等 .....	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成24年3月1日～平成24年8月31日)におけるわが国経済は、昨年3月の東日本大震災から1年を経て、企業業績も改善し緩やかではあるものの回復の兆しを見せはじめました。しかしながら、欧州を中心とした金融不安やそれに起因する企業業績の悪化に対する懸念等、先行きははまだ予断を許さない状況にあります。

そのような環境のもと、当社グループは構造改革を進めるとともに営業力強化に努めました。さらに、収益力の高いグループ会社を有する強みを活かすことにより、グループの総合力を結集し、業績の改善に努めました。

その結果、連結営業収益は419,830百万円(前年同期比2.4%増)、連結営業利益は10,124百万円(前年同期比11.6%増)、連結経常利益は11,740百万円(前年同期比8.8%増)となり、連結四半期純利益は6,604百万円(前年同期比22.8%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

#### <百貨店業>

百貨店業においては、本年度は「増収へのチャレンジ」を掲げ、全店共通のオリジナル開発商材の強化に取り組んでおります。加えて、お客様の声に基づいた店舗独自の品揃えの強化とも連携し、一層の特徴化を發揮すべく努めております。

当第2四半期は、3月及び4月は昨年の震災影響の反動に加え、特選衣料雑貨や宝飾品等の高額品の売上が堅調に推移しました。しかしながら、6月は例年より気温が低い日が続いたことも影響し、婦人服を中心に夏物衣料品の動きが鈍く、売上高は前年を下回りました。クリアランスセールは、例年通り7月1日からスタートしましたが、曜日まわりの悪さやブランドによりスタート日が分散したこともあり、売上高・入店客数ともに、前年を下回る結果となりました。

店舗毎の状況では、横浜店はクリアランスセールの影響に加え、来年のリニューアルオープンに向けた改装工事に伴う売場面積の縮小により、6月以降の売上への影響が顕著となりました。昨年3月にリニューアルオープンした大阪店は増収となりましたが、衣料品と食料品の売上が伸び悩みました。一方、新宿店は震災影響の反動と外国人旅行者数の回復等により大きく増収となりましたが、店舗周辺工事の継続等により入店客数は回復が遅れています。

海外では、タカシマヤ・シンガポール LTD. が、カード会員への特典強化やツーリスト対策など積極的な営業施策を実施し増収となりました。一方で、為替影響によりわずかながら減益となりました。

この結果、営業収益は373,145百万円(前年同期比2.1%増)、営業利益は3,700百万円(前年同期比8.7%減)となりました。

#### <建装事業>

建装事業においては、高島屋スペースクリエイツ株式会社が、ラグジュアリーブランド店舗やオフィス物件等の受注が回復し、増収と黒字転換を果たしました。

この結果、営業収益は8,320百万円(前年同期比16.1%増)、営業利益は260百万円(前年同期は営業損失79百万円)となりました。

#### <不動産業>

不動産業においては、東神開発株式会社が、玉川、柏、流山おおたかの森等のショッピングセンターの売上が好調に推移し、増収増益となりました。また、トーシン ディベロップメント シンガポールPTE.,LTD.においても、国内同様にショッピングセンター売上の好調により、増収増益となりました。

この結果、営業収益は16,659百万円(前年同期比6.1%増)、営業利益は3,831百万円(前年同期比7.6%増)となりました。

<金融業>

金融業においては、高島屋クレジット株式会社が、ショッピング収益が堅調に推移したものの、わずかに減収となりました。一方、与信管理厳格化による貸倒費用の削減等、販売管理費の削減を進め増益となりました。

この結果、営業収益は5,830百万円（前年同期比0.2%減）、営業利益は1,903百万円（前年同期比22.2%増）となりました。

<その他>

クロスメディア事業においては、ネットビジネスで取り組みを強化している食料品や化粧品の取扱いブランド数の増加等を受注増につなげたものの、カタログビジネスで震災関連商品の受注減もあり、減収となりました。

また、機能子会社である株式会社高島屋サービスも原価低減など収益性の改善を図り、営業損失額が前年同期より縮小しました。

この結果、クロスメディア事業等その他全体での営業収益は15,875百万円（前年同期比0.5%増）、営業利益は159百万円（前年同期は営業損失267百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産は、789,801百万円と前連結会計年度末に比べ14,116百万円減少しました。これは売掛金、有価証券が減少したことなどによるものです。負債については、474,304百万円と前連結会計年度末に比べ22,132百万円減少しました。主な要因は借入金が減少したことなどによるものです。純資産については、315,497百万円と前連結会計年度末に比べ8,016百万円増加しました。

営業活動キャッシュ・フローは、16,888百万円の収入となり、前年同期に比べ7,035百万円の収入の減少となりました。主な要因は、未収入金の増減額が9,417百万円増加したことをはじめ、たな卸資産の増減額が3,043百万円増加したこと、退職給付引当金の増減額が2,452百万円減少した一方、売上債権の増減額が7,266百万円が減少したことなどによるものです。

投資活動キャッシュ・フローは、16,216百万円の支出となり、前年同期に比べ7,934百万円の支出の増加となりました。主な要因は、定期預金の預入による支出が4,726百万円増加したことをはじめ、有形及び無形固定資産の取得による支出が1,547百万円増加したこと、関係会社株式の取得による支出が1,202百万円増加したことなどによるものです。

財務活動キャッシュ・フローは、18,834百万円の支出となり、前年同期に比べ14,727百万円の支出の増加となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出が17,895百万円増加した一方、長期借入れによる収入が3,300百万円増加したことなどによるものです。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ17,271百万円減少し、58,805百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績につきましては、平成24年6月25日の第1四半期決算発表時の業績予想から営業収益、営業利益、経常利益及び当期純利益を下記のとおり修正いたしました。

平成25年2月期通期連結業績予想数値の修正（平成24年3月1日～平成25年2月28日）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	880,000	24,000	26,500	13,000	39 .40
今回修正予想(B)	874,500	25,000	27,500	13,500	40 .92
増減額(B-A)	5,500	1,000	1,000	500	
増減率(%)	0.6	4.2	3.8	3.8	
前期実績(平成24年2月期)	858,123	21,099	24,355	10,895	33 .02

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間より、新たに株式会社セレクトスクエアの株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### (4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しています。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	61,124	63,509
受取手形及び売掛金	121,414	118,385
有価証券	15,000	-
商品及び製品	36,765	35,875
仕掛品	508	497
原材料及び貯蔵品	590	572
その他	27,869	26,169
貸倒引当金	877	746
流動資産合計	262,394	244,264
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	155,348	153,787
土地	208,682	211,419
その他(純額)	11,717	11,764
有形固定資産合計	375,748	376,971
無形固定資産		
のれん	669	801
その他	29,129	28,634
無形固定資産合計	29,799	29,436
投資その他の資産		
投資有価証券	77,474	82,544
差入保証金	42,082	41,743
その他	20,825	19,006
貸倒引当金	4,406	4,165
投資その他の資産合計	135,975	139,129
固定資産合計	541,522	545,537
資産合計	803,917	789,801

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	87,297	89,224
短期借入金	39,811	19,051
未払法人税等	4,177	3,445
前受金	75,713	77,228
商品券	63,070	60,490
ポイント引当金	3,517	3,057
その他	49,322	43,637
流動負債合計	322,910	296,136
<b>固定負債</b>		
社債	30,000	30,000
長期借入金	57,667	61,826
資産除去債務	1,122	1,174
退職給付引当金	49,763	47,167
役員退職慰労引当金	242	256
環境対策引当金	660	660
その他	34,069	37,081
固定負債合計	173,525	178,167
負債合計	496,436	474,304
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	56,025	56,025
資本剰余金	45,085	45,086
利益剰余金	193,362	198,316
自己株式	531	534
株主資本合計	293,941	298,893
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	4,799	6,330
繰延ヘッジ損益	11	1
土地再評価差額金	8,373	8,373
為替換算調整勘定	4,974	3,816
その他の包括利益累計額合計	8,211	10,886
少数株主持分	5,328	5,716
純資産合計	307,481	315,497
負債純資産合計	803,917	789,801



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
売上高	383,861	392,697
売上原価	284,186	290,584
売上総利益	99,675	102,113
その他の営業収入	26,207	27,132
営業総利益	125,882	129,245
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	10,827	11,397
ポイント引当金繰入額	1,727	1,299
貸倒引当金繰入額	558	192
役員報酬及び給料手当	32,669	32,878
退職給付費用	3,702	3,399
不動産賃借料	18,909	18,624
その他	48,417	51,329
販売費及び一般管理費合計	116,813	119,121
営業利益	9,069	10,124
営業外収益		
受取利息	174	212
受取配当金	538	528
持分法による投資利益	1,087	957
その他	1,392	991
営業外収益合計	3,192	2,690
営業外費用		
支払利息	792	677
為替差損	549	174
その他	130	223
営業外費用合計	1,473	1,074
経常利益	10,789	11,740
特別利益		
貸倒引当金戻入額	15	-
固定資産売却益	64	-
投資有価証券売却益	32	-
特別利益合計	111	-
特別損失		
固定資産除却損	777	1,208
早期割増退職金	583	-
投資有価証券評価損	493	19
災害による損失	353	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	369	-
その他	246	1
特別損失合計	2,823	1,229
税金等調整前四半期純利益	8,077	10,510
法人税、住民税及び事業税	2,450	2,720
法人税等調整額	25	794
法人税等合計	2,424	3,515
少数株主損益調整前四半期純利益	5,652	6,995
少数株主利益	275	391
四半期純利益	5,376	6,604

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,652	6,995
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,990	1,523
繰延ヘッジ損益	17	12
為替換算調整勘定	1,315	580
持分法適用会社に対する持分相当額	610	585
その他の包括利益合計	1,080	2,675
四半期包括利益	4,571	9,671
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,295	9,280
少数株主に係る四半期包括利益	275	391

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	8,077	10,510
減価償却費	8,403	9,340
のれん償却額	47	57
貸倒引当金の増減額(は減少)	57	372
退職給付引当金の増減額(は減少)	143	2,595
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	12	14
ポイント引当金の増減額(は減少)	186	459
建物等除却損失引当金の増減額(は減少)	341	-
受取利息及び受取配当金	713	741
支払利息	792	677
持分法による投資損益(は益)	1,087	957
固定資産売却損益(は益)	62	-
固定資産除却損	521	763
投資有価証券評価損益(は益)	493	19
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	369	-
売上債権の増減額(は増加)	4,235	3,030
たな卸資産の増減額(は増加)	3,998	954
仕入債務の増減額(は減少)	543	1,593
未収入金の増減額(は増加)	9,951	534
その他	227	2,808
小計	25,183	19,560
利息及び配当金の受取額	1,606	1,522
利息の支払額	809	715
法人税等の支払額	2,057	3,478
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,923	16,888
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	48	4,775
定期預金の払戻による収入	220	-
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	12	7
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	58	3
関係会社株式の取得による支出	758	1,960
有形及び無形固定資産の取得による支出	7,939	9,486
有形及び無形固定資産の売却による収入	133	9
その他	63	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,282	16,216

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	2,000	5,300
長期借入金の返済による支出	4,141	22,037
配当金の支払額	1,649	1,649
その他	316	448
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,107	18,834
現金及び現金同等物に係る換算差額	754	890
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	12,289	17,271
現金及び現金同等物の期首残高	70,279	76,077
現金及び現金同等物の四半期末残高	82,569	58,805

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間(自平成23年3月1日至平成23年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	百貨店業	建装事業	不動産業	金融業	計				
営業収益									
(1)外部顧客への営業収益	365,575	7,166	15,698	5,840	394,280	15,788	410,069		410,069
(2)セグメント間の内部営業収益又は振替高	2,945	884	2,513	1,931	8,275	15,231	23,506	23,506	
計	368,520	8,051	18,211	7,771	402,555	31,019	433,575	23,506	410,069
セグメント利益又は損失( )	4,053	79	3,559	1,557	9,090	267	8,822	246	9,069

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通信販売事業、卸売事業、衣料品加工業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額246百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	百貨店業	建装事業	不動産業	金融業	計				
営業収益									
(1)外部顧客への営業収益	373,145	8,320	16,659	5,830	403,955	15,875	419,830		419,830
(2)セグメント間の内部営業収益又は振替高	2,916	2,265	2,185	2,019	9,385	15,405	24,791	24,791	
計	376,061	10,585	18,844	7,850	413,341	31,280	444,621	24,791	419,830
セグメント利益	3,700	260	3,831	1,903	9,697	159	9,857	267	10,124

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通信販売事業、卸売事業、衣料品加工業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額267百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。